

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 3 部門第 2 区分

【発行日】平成26年6月26日 (2014.6.26)

【公表番号】特表2013-527854(P2013-527854A)

【公表日】平成25年7月4日 (2013.7.4)

【年通号数】公開・登録公報2013-035

【出願番号】特願2013-509404(P2013-509404)

【国際特許分類】

A 6 1 K 31/715 (2006.01)

A 6 1 P 37/04 (2006.01)

A 6 1 K 48/00 (2006.01)

A 6 1 K 39/12 (2006.01)

A 6 1 K 39/02 (2006.01)

A 6 1 K 39/002 (2006.01)

A 6 1 K 39/00 (2006.01)

A 6 1 K 39/35 (2006.01)

A 6 1 P 43/00 (2006.01)

A 6 1 K 39/39 (2006.01)

C 1 2 N 15/09 (2006.01)

C 0 7 K 7/06 (2006.01)

【F I】

A 6 1 K 31/715

A 6 1 P 37/04

A 6 1 K 48/00

A 6 1 K 39/12

A 6 1 K 39/02

A 6 1 K 39/002

A 6 1 K 39/00 K

A 6 1 K 39/00 H

A 6 1 K 39/35

A 6 1 P 43/00 1 2 1

A 6 1 K 39/39

C 1 2 N 15/00 Z N A A

C 0 7 K 7/06

【手続補正書】

【提出日】平成26年5月8日 (2014.5.8)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

マンナンを含む免疫刺激組成物であって、マンナンの少なくとも 75% が約 1000 kDa より大きい組成物。

【請求項 2】

少なくとも 1 つの抗原又はそれをコードする核酸を更に含む、請求項 1 に記載の組成物

。

【請求項 3】

マンナンが酸化されている、請求項 1 または 2 に記載の組成物。

【請求項 4】

マンナンの少なくとも 75 % が少なくとも 150 のアルデヒド基を有する、請求項 3 に記載の組成物。

【請求項 5】

マンナンが酸化されており、少なくとも 1 つの抗原に共有結合されている、請求項 2 に記載の組成物。

【請求項 6】

マンナンが酸化されており、ポリカチオンを介して少なくとも 1 つの核酸に抱合されている、請求項 2 に記載の組成物。

【請求項 7】

少なくとも 1 つの抗原又はそれをコードする核酸に抱合される前に、酸化マンナンの少なくとも 75 % が少なくとも 150 のアルデヒド基を有する、請求項 5 または 6 に記載の組成物。

【請求項 8】

マンナンが酵母に由来する、請求項 1 から 7 のいずれか一項に記載の組成物。

【請求項 9】

アミノナフタレン - 1 , 3 , 6 - トリスルホン酸 (A N T S) で標識した後のマンナンのサイズ分布が、タンパク質基準に基づいて約 150 ~ 約 250 kDa の間であり、及び / 又は炭水化物基準に基づいて約 800 ~ 約 3000 kDa の間である、請求項 1 から 8 のいずれか一項に記載の組成物。

【請求項 10】

対象において免疫応答を誘導する及び / 又は高める ための、請求項 1 から 9 のいずれか一項に記載の組成物。

【請求項 11】

請求項 1 から 10 のいずれか一項に記載の組成物を調製する方法であって、

- i) マンナンを含む組成物を得ること、
- ii) サイズに基づいて工程 i) の組成物を分画すること、
- iii) マンナンを含む 1 以上の分画を選択し、1 以上の分画におけるマンナンの少なくとも 75 % が約 1000 kDa より大きいこと、及び
- iv) 少なくとも 1 つのその他の化合物と工程 iii) のマンナンを任意で混合する又は抱合すること、を含む方法。

【請求項 12】

少なくとも 1 つのその他の化合物が、抗原又はそれをコードする核酸である、請求項 11 に記載の方法。

【請求項 13】

請求項 2 から 10 のいずれか一項に記載の組成物を調製する方法であって、

- i) マンナンの少なくとも 75 % が 約 000 kDa より大きいマンナンを含む組成物を得ること、及び
- ii) 少なくとも 1 つの抗原又はそれをコードする核酸と工程 i) の組成物を混合し又は抱合し、それによって 組成物を調製することを含む方法。

【請求項 14】

請求項 11 に規定される工程 iv) または請求項 13 に規定される工程 ii) の前に、マンナンを酸化する工程をさらに含む、請求項 11 から 13 のいずれか一項に記載の方法。

【請求項 15】

酸化マンナンの少なくとも 75 % が少なくとも 150 のアルデヒド基を有する、請求項 14 に記載の方法。